

『公共情報コモンズ』の導入に向けた課題の調査結果を踏まえ、解決方策等を活発に議論 ～ 北陸情報通信協議会「安心・安全部会」第2回会合を開催 ～



挨拶する苑田部長（写真中央）

総務省北陸総合通信局（局長 齊藤 一雅）と北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会会長）は、9月4日金沢市内で同協議会「安心・安全部会」（本年7月4日設置）の第2回会合を開催しました。

会合では、苑田洋史北陸総合通信局情報通信部長及び部会長である宮島昌克 金沢大学理工研究域環境デザイン学系教授のあいさつの後、「公共情報コモンズ」の導入に向けた課題の解決方策等に関し、8月に実施した県及び放送事業者（ケーブルテレビ事業者を含む）に対する意向調査（導入のメリット、課題の認識等）の結果を踏まえ、また、公共情報コモンズの運営主体である一般財団法人マルチメディア振興センター（FMMC）の吉田正彦プロジェクト企画部長、川喜多孝之プロジェクト担当部長をアドバイザーに迎え、導入済み地域の事例なども参考にしながら、活発な議論を行いました。

公共情報コモンズの導入に向けた課題としては、①経費、②システムの信頼性、③情報の受発信ルール（誤報対策等）などが挙げられており、今後は、こうした具体的な課題の解決方策を明らかにしながら、早期導入に向けたさらなる検討を進めていくこととしています。

次回の会合は、11月頃の開催を予定しています。



部会の様子

問い合わせ先：情報通信部情報通信振興室 076-233-4430